

【ベトナム】情報通信省、遠隔医療プラットフォームおよび接触者追跡アプリの導入を開始

Nguyen Xuan Phuc ベトナム首相は 4 月 18 日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を含む診療のための遠隔医療プラットフォームおよび「Bluezone」アプリ導入のセレモニーイベントに出席した。情報通信省および科学技術省が共同開催した同イベントにおいて首相は、今回のプラットフォーム導入は、ベトナムにとって医療分野でのデジタルトランスフォーメーションであり、デジタル国家実現への前進であると述べている。ベトナム国防省傘下の国有通信事業者ベトテルが開発した同プラットフォームは、遠隔診療、遠隔手術コンサルテーションの他、遠隔訓練、遠隔技術移転などにも活用することが見込まれている。一方、ブルートゥース技術を活用した低電力スマートフォンアプリ「Bluezone」は 2 メートル以内に接近した相手を検知し、アプリユーザが感染した場合、保存データによって保健当局が接触者を追跡し、感染の恐れを警告するシステムとなっている。

ベトナム保健省は先月、COVID-19 対策のための遠隔医療センターを開設した。同センターは、リソースおよび専門家による取り組みの管理を任務としており、COVID-19 感染者に対処する医療機関を間接的にあるいはオンラインで支援する。専門家や医師は情報技術を駆使して患者や医療パラメーターを監視し、呼吸から心電図に至るまで患者の状態を把握し、人工呼吸器や点滴に関して他のスタッフに指示することができる。これにより COVID-19 がさらに拡大した場合、医療従事者と感染者の濃厚接触を最小限に抑え、人手不足などの問題にも対処可能となる。